

センター通信



スマートフォンとの付き合い方について

兵庫県立伊丹高等学校
生徒会長 太田 美潤

近年スマートフォン（スマホ）を持つ若者が増えていますが、それに伴いスマホ依存の問題も広がっています。この問題は日本だけでなく世界中で取り上げられていて、スマホが気になってリアルなコミュニケーションを阻害する意味の「Phubbing（ファブビング）」という新しい英語まで生まれています。特に問題視されているものに、SNS（※）内でのトラブルがあります。その一つとして近年ニュースでも取り上げられているLINE（ライン）いじめについて述べます。

LINEは主にスマホ向けのアプリ（アプリケーションソフトウェアの略）で中高生の利用者が増えています。その中で問題となっているのがLINE内でのいじめです。なぜLINEが安易ないじめのツールとして広がっているのか、それは「閉ざされた世界」であるからです。現実世界のいじめなら周囲の目もあり歯止めがかかる場合もありますが、グループ内という小さな閉ざされた世界でのいじめは発覚しにくい上、エスカレートもしやすいのです。もうひとつの要因は「既読」です。LINEではメッセージを読むと相手に「既読」の文字が表示されます。これは大震災などの際に安否確認ができるための機能でしたが、メッセージを読んですぐ返信しないと「既読無視」と言われ仲間外れにされる。外される不安感からメッセージ交換が長時間に及ぶこともあり、「LINE疲れ」で寝不足に陥る中高生も少なくありません。

いじめ防止対策推進法が制定されるなど国を挙げた対策が進められていますが、いじめは一向になくなりません。そもそもいじめの正体とは一体何でしょうか。それはこの世界のあらゆるところに存在する「空気～多数派は常に正義で、異を唱える者は排除されるというムード」です。私たちに必要なのは排除されないことに安心することではなく、自分たちの意志でこの「空気」を打ち破る力です。それができたとき、この世界からいじめをなくすことができると思います。

スマホは簡単に友達と連絡を取り合えたり、ネットに繋げることができたりと大変便利なツールですが、その使い方によっては様々な問題やトラブルの被害者、あるいは加害者になってしまう可能性があり、人生を大きく変えてしまうことだって有り得るのです。私たちは、「ネット」の便利さや、生ぬるい「空気」の居心地に自分たちが「依存している」と自覚するということが重要です。もう一度自分たちを取り巻くネットワークを見直すべきであると思います。

※ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略）

日記やメッセージなどを通して、友人や知人、共通の趣味を持つ人たちと交流することを目的としたサービスの総称。LINEはその代表的なものの1つである。

三市合同補導を実施

(川西市、宝塚市、伊丹市)

8月20日(水)、川西能勢口駅周辺において、阪神北サポートセンター、川西市・宝塚市・伊丹市の少年補導委員やセンター職員等53名が参加して、三市合同補導を実施しました。

午後6時から川西市青少年センターで情報交換を行い、その後2つのグループに分かれ、約1時間、駅構内やアステ川西、複合アミューズメント施設等を巡回しました。

川西能勢口駅周辺は、他市の高校へ通う子どもたちなど、伊丹市内からも多くの子どもたちが集まります。今回の合同補導では、子どもたちの目立った問題行動は見受けられませんでした。



が、子ども同士のつながりも広域化しているため、今後も近隣市と連携した補導活動の取り組みが重要となります。

今月は、川西市青少年補導委員とイオンモール伊丹やJR伊丹駅周辺で合同補導を実施します。また1月には、宝塚市青少年補導委員とイオンモール伊丹昆陽で合同補導を実施する予定にしています。

伊丹市少年補導委員全体研修会

8月26日(火)、総合教育センター2階研修室において、少年補導委員の全体研修会を実施しました。この研修会は、日中には参加が難しい補導委員も参加しやすいように、午後7時から開始し、約100名の補導委員の参加がありました。

7~8人のグループに分かれ、それぞれのブロックで行っている補導活動について、情報交換を行い、活発な話し合いがされました。

今後、今回の研修で交流したことを取り入れ、伊丹の子どもたちの健全育成のために、さらに力を発揮していただけたと思います。市民のみなさんも、子どもたちへの声かけ、見守りにご協力をお願いします。

子ども対象犯罪発生状況 【阪神ブロック】今年上半期 『ひょうご防犯ネット』より

【発生状況】

認知件数~398件(前年比-12件)

チカンなどのわいせつ事案が178件(約45%)、その他声かけ、つきまとい事案などが220件(約55%)となっています。

【特徴的傾向】

○時間帯

・チカンなどのわいせつ事案は、児童や生徒の下校

9月の主な行事

- 2日(火) 摂陽ブロック夜間特別補導
- 4日(木) 合同教育相談
- 5日(金) 兵庫県青少年補導センター連絡協議会 所長会
- 8日(月) 伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会
- 9日(火) 昆陽里ブロック夜間特別補導
- 10日(水) 少年を守る日 市内広報・一斉補導
- 11日(木) 伊丹市・尼崎市中学校生徒指導連絡会

時間や塾の往復時間である午後4時から午後6時までの間に多発。

・声かけ、つきまとい事案などは、児童や生徒の下校時間である午後3時から午後7時までの間に多発。

○地域別

・チカンなどのわいせつ事案は、阪急西宮北口駅、JR・阪急宝塚駅周辺の路上、西宮市の中部地域の通学路、尼崎市と伊丹市の境界付近の通学路において多発。阪神ブロックで86件検挙又は警告により解決。

・声かけ、つきまとい事案などは、阪神香櫛園駅、阪神甲子園駅、阪急川西能勢口駅周辺の路上において多発。阪神ブロックにおいて65件検挙又は警告により解決。

○被害に遭いそうになった子どものうち、防犯ブザーを使用したものは1件のみ。

【防犯対策】

○下校中に多発しているため、学校からはなるべく複数で帰り、後方には十分注意する。

○名前を知っていたり、優しくそうな人に声をかけられてもついて行かない。

○防犯ブザーは効果的です。いざという時に使用できるように日頃から訓練しておく。

○周囲への注意力が散漫となる「歩きながら」の携帯電話や音楽プレーヤーの使用は控える。

○電車内で不審な動きをしている人から声をかけられたり、近づかれたら、すぐに助けを求めろ。

◆街頭補導の件数 《平成26年8月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	271	83	42	77	473
遊びに関して	41	23	6	2	72
ぐ犯・不良行為	0	10	19	4	33
交通に関して	13	59	53	133	258
計	54	92	78	139	363

◆電話・来所相談の件数 《平成26年8月》

	電話相談	来所相談
件数	11	5
前月比	-5	+2
累計	74	19

先月の来所相談件数について、下記のとおり訂正しお詫びいたします。

件数2→3 前月比-3→-2 累計13→14

◆白ポスト回収状況 《平成26年8月》

	数量	前月比	累計
有害図書	220	-72	
有害AV	595	+367	
計	815	+295	3,686

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急橋野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
荒牧バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口駐輪場・西桑津バス停

- 16日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
 - 17日(水) 神津ブロック夜間特別補導
 - 18日(木) 合同教育相談
 - 19日(金) 荻野ブロック夜間特別補導
 - 24日(水) 有害図書回収
 - 30日(火) 川西市・伊丹市少年補導委員合同補導
- 9月中旬~ 第2回愛護補導連絡会
10月中旬 (各小学校)

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。